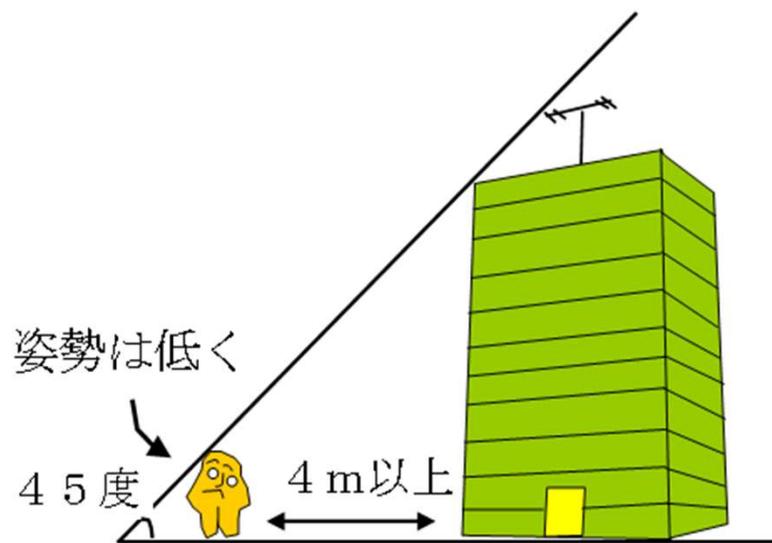


落雷に注意！！



安全な場所に避難できない場合の対応

30m以下の高い物体の安全地帯



《安全な場所に避難できない場合の対応》

安全な場所に避難できない場合は電柱や煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを

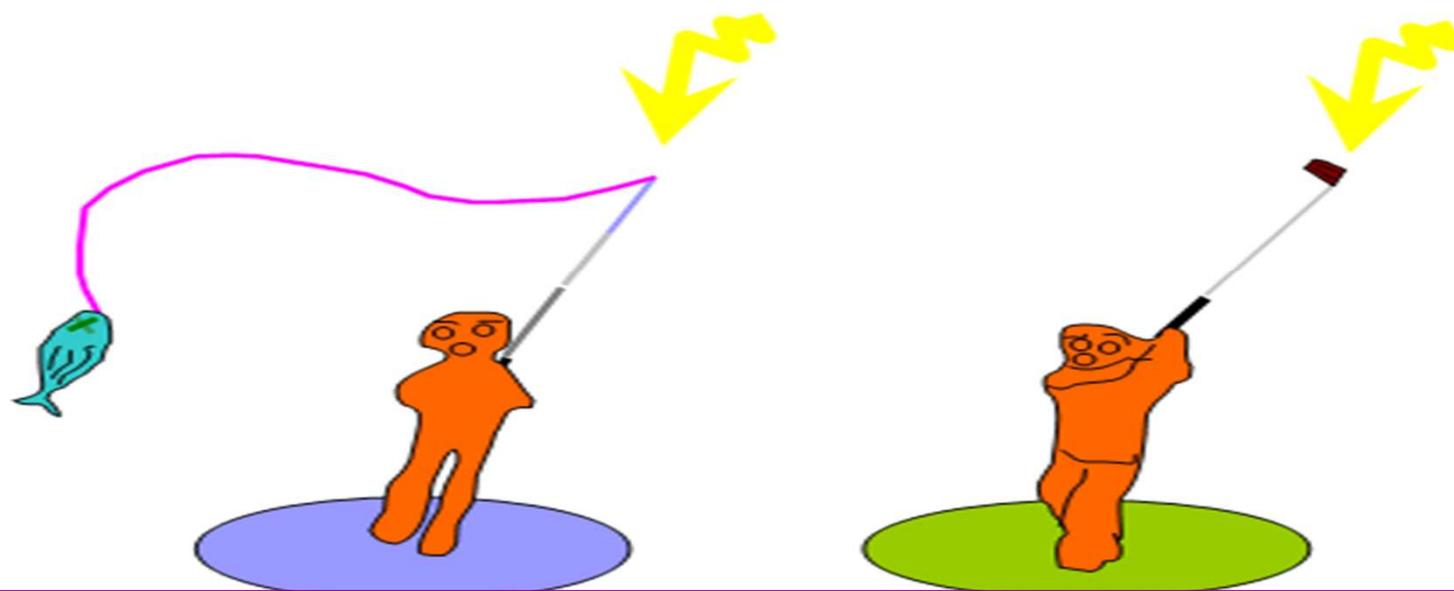
45度以上の角度で見上げ、尚且つ4m以上離れた範囲（保護範囲）に退避してください。但し高い木の近くは危険ですから、最低でも木のすべての幹、枝、葉から2m以上離れることが大切です。姿勢を低くして持ち物は体より高く突き出さないようにします。そして雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な場所へ移動してください。

《屋内に潜む危険》

繰り返し述べますが屋外から屋内に入ってくる電線

などがあれば雷の高電流が電線や水道管、配水管を伝わって感電する恐れがあります。従って電気コードがコンセントにつながっている電気器具から1m以上離れることが大切です。また、激しい雷雨中は炊事や洗濯は避けてください。

持ち物を自分の頭より高く突き出さない



《金属類は体から外しても危険》

雷は体から金属類を外しても安全ではありません。屋外に立っていると雷は金属の有無に関係なく人に落ちる危険性があります。傘などをさしたり持ち物を自分の頭よりも高く突き出さないことが必要です。特に釣竿やゴルフクラブ、テニスラケットなど屋外のレジャー、スポーツは要注意です。



《高い木や森、林は危険》

高い木のそばにいと木の幹や枝から落雷による高電流が人へ飛び移る恐れがあります。高い木から離れてすぐに安全な場所に避難することが大事です。もし激しい雷雨に見舞われた時には木がまばらなところで、尚且つ、幹や枝、葉先からできるだけ離れた場所で姿勢を低くしてください。